

## C・トラップの施工及び取扱い上のご注意

### ●取扱い上の注意

- ・強い衝撃を与えると破損する恐れがありますので、丁寧に取扱いして下さい。
- ・火の近くなどの特に高温になる場所で保管・使用しないで下さい。
- ・屋外でのご使用時には直射日光があたらないように設置してください。
- ・塩ビ配管用接着剤を使用する場合、接着剤は、接着面以外への付着がないように十分注意して下さい。
- ・本体付近で吊り(配管の支持)を取って下さい。
- ・設置時には、空調機の静圧を考慮した落差を設けて下さい(右図を参照して下さい)。
- ・排水立て管には伸頂通気を設けて下さい。
- ・配管終了後、保温施工前に通水(満水)テストを行い水漏れが無い事を確認して下さい。
- ・必要に応じて結露防止対策を施して下さい(保温型は別途記載の結露防止性能をご覧ください)。
- ・本製品は気体及び液体の逆流を完全に防止することはできません。
- ・保守・点検・清掃作業が行える様にC・トラップ付近に点検口を取り付けて下さい。
- ・通常使用時はフタをしっかりと閉めておいて下さい。また、フタの開閉時は本体を支えて、配管に力がかからない様に注意して下さい。
- ・フタの開閉時には、フタの内側の止水用パッキンに傷や異常が無いか点検して下さい。異常が認められた場合はパッキンを新しい物と交換して下さい。
- ・汚れの程度に応じて6ヶ月に1回以上清掃してください(別途記載の点検・清掃の手順をご覧ください)。
- ・急激な温度変化や瞬間的な異常高温等の影響、経年劣化によって、特殊フロートボール内に水が侵入したり破損したりする場合があります。これらの異常が認められた場合は特殊フロートボールを新しい物と交換して下さい。
- ・耐熱温度は90℃です。
- ・本製品の保証期間は、出荷日より1年間と致します。

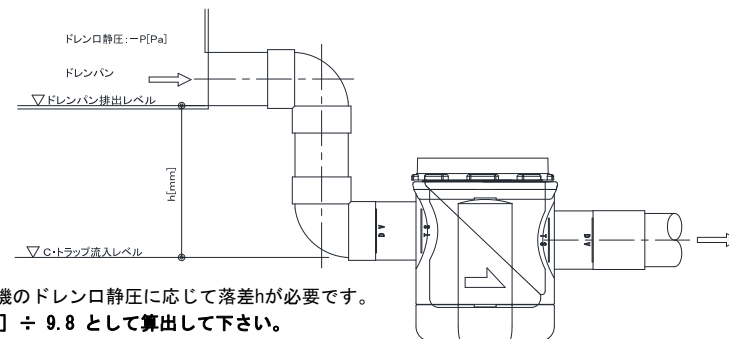
### 【保温型ご使用時】

- ・配管接続部は塩ビ管外径と同じです。
  - 25A、30A型の接続口長さはTS継手の規格に準じています。
  - 40A、50A型の接続口長さはDV継手の規格に準じています。
- ・保温カバーを分解しないでください。
- ・保温カバーに異常が見られたときは、本体ごと取り換えるか、別途結露防止対策をしてご使用ください。
- ・使用開始時に結露が発生していない場合でも、流入する排水の温度変化や、設置場所の温湿度条件の変化等により結露が発生する場合があります。定期的に点検をして状況変化があった場合には別途結露防止対策をしてご使用ください。
- ・ACドレンシステム等の結露防止層付硬質塩化ビニル管を使用する場合は接続部に保温施工が必要です。(別途記載図を参照して下さい)。

## ～本取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご使用下さい～

### ●設置時のチェックポイント

- ① C・トラップの流入、流出方向を確認の上、水平に取り付けて下さい。
- ② ドレン配管は順勾配で施工して下さい。
- ③ C・トラップの二次側配管にはトラップを設けしないで下さい。
- ④ 流入側にドレン口静圧以上の落差を設けて下さい(寸法については下図を参照)。
- ⑤ フタをしっかりと閉めて下さい。



○接続する空調機のドレン口静圧に応じて落差hが必要です。

$h[\text{mm}] \geq P[\text{Pa}] \div 9.8$  として算出して下さい。

(例) 機器全静圧450Pa、機外静圧330Paの場合

機内静圧 =  $450[\text{Pa}] - 330[\text{Pa}] = 120[\text{Pa}]$

ドレン口静圧 = 機内静圧 + 機外静圧  $\times 1/2$

=  $120[\text{Pa}] + 330[\text{Pa}] \times 1/2 = 285[\text{Pa}]$

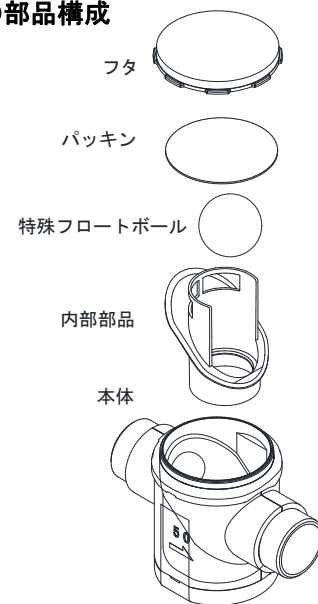
落差 $h[\text{mm}] = 285[\text{Pa}] \div 9.8 \approx 30[\text{mm}]$  → 落差 $h$ は30mm以上必要です。

### ●点検・清掃の手順

アセトン・シンナー等の有機化合物を使用しないで下さい。

- ① フタの開閉時は配管に力がかからないように注意して下さい。
- ② 内部部品と特殊フロートボールを取り出して、当たり面の清掃を行なって下さい。
- ③ 本体内に溜まったほこり等を取り除いて下さい。
- ④ 内部部品と特殊フロートボールにキズや異常が無いか確認して下さい。
- ⑤ 内部部品と特殊フロートボールを元の位置に収めて下さい。
- ⑥ パッキンにキズや異常が無いか確認して下さい。
- ⑦ フタをしっかりと閉めて、水漏れが無いか確認して下さい。
- ⑧ 配管接合部、本体の支持などに異常が無いか点検して下さい。

### ●部品構成



## ● C・トラップ保温型の結露防止性能について

C・トラップ保温型の結露防止性能は以下の通りです。

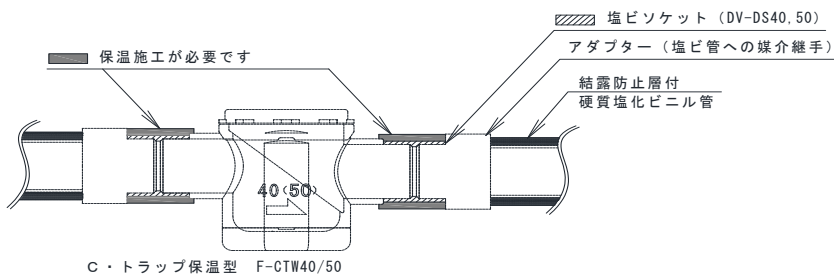
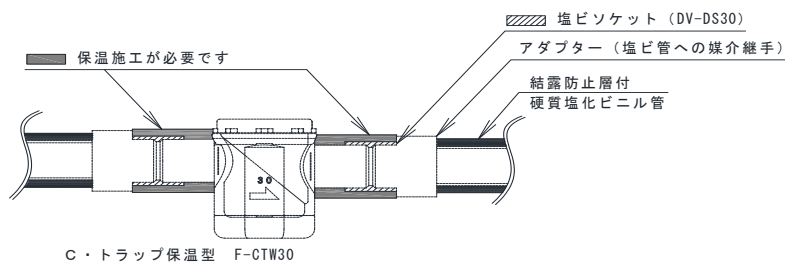
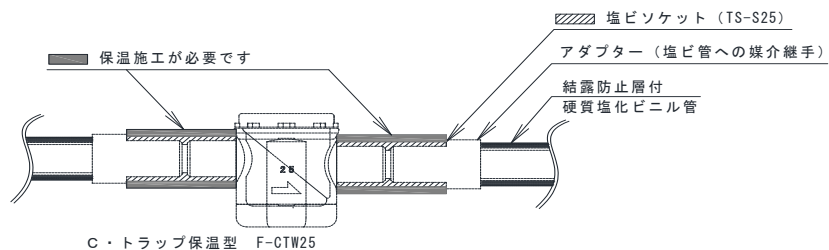
流入水温 15℃ 雰囲気温度/湿度 30℃/75%

流入水温 10℃ 雰囲気温度/湿度 30℃/70%

この数値以上の条件となる場合は別途結露防止対策（保温施工）が必要となります。

## ● 結露防止層付硬質塩化ビニル管との接続について

- ①アダプター（塩ビ管への媒介継手）と塩ビソケット（TS-S25、DV-DS30・40・50）をご使用下さい。
- ②塩ビ変換アダプターを使用して接続する際、通常の塩ビ継手を使用した場合は、接続部の保温施工が必要となります。
- ③現場仕様をご確認の上、保温施工には、付属の保温材をご使用下さい。



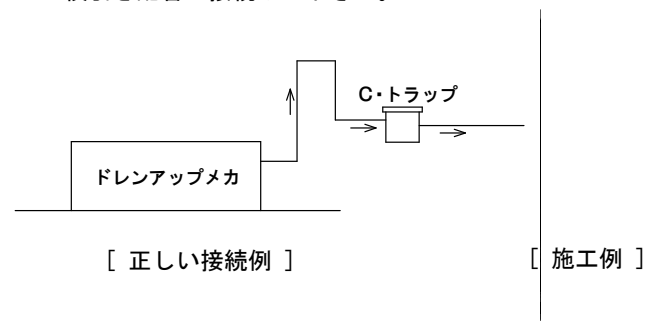
## ● ドレンアップメカへの接続について

暖房運転時などの結露水排水が発生しない時期において、チャッキ機能の無いドレンアップメカではドレン管からの汚染空気の逆流や害虫の侵入を防止することができません。

排水の有無にかかわらずドレン管からの空気逆流を防止するためには、C・トラップの設置が必要です。

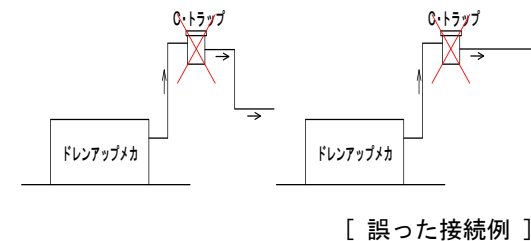
### ○ 正しい接続方法

ドレンアップメカの配管にC・トラップを接続する場合は、鳥居型配管を立ち下げたのちの横引き配管に接続して下さい。



### × 誤った接続方法

スムーズに排水されない場合があるので、下図のような接続は避けて下さい。



**KFK**  
**コンドーFRP工業株式会社**

〒531-0073 大阪市北区本庄西 3-9-15

TEL06-6376-0810 FAX06-6376-0819

